

特性確認シート

氏名:

記入者: 年 月 日

[強み・得意・できること・好きなことを中心に気付いたこと]		[その他気付いたこと]				
現れている行動の例【1】	✓	本人の行動【1】		関連する障害特性【2】	障害特性のリフレーミング	支援のアイディア【3】
コミュニケーションの障がい 言葉で伝えても、行動にうつせない オウム返しがある 物や図、手本を見せると理解しやすい とりあえず、「はい」「わかった」「いや」などと返事をすることがある 曖昧な言葉や、抽象的な言葉の理解が苦手 冗談や皮肉など言葉の裏を読めずに、字義通り解釈をする 人との会話が苦手 短い言葉でないと分からない 自分なりの解釈が多く、周囲と理解がずれることがある 行動(かんしゃく・パニックなど)で気持ちを伝える コマーシャルやアニメなど、聞いたことをそのまま言っても、伝える手段で言葉を使えない この場所ではこの台詞など、パターン的な言い方がある 指さしや相手の手をとって訴える(クレーン) 言葉はあるが、不明瞭だったり、自分なりの言い方でしか使えない 伝え方が解らず、オウム返しがある 文法が使えない(単語・二語文)／使えても助詞(がのにを)を間違える やりとりができない／かみあわない やりとりが続かない 自分が知っていることを話すのは得意だが、一方的なことがある				A. 理解が難しい <input type="checkbox"/> 見えないものの理解が難しい <input type="checkbox"/> 音声言語の理解が苦手 <input type="checkbox"/> 一度にたくさんはわからない <input type="checkbox"/> 理解するのに時間がかかる <input type="checkbox"/> 聴覚が過敏(音・声等)で理解が難しい	→目で見てわかることの理解は得意 →目で見てわかることの理解は得意 →理解しやすい情報量であればわかる →時間をかければ理解が出来る →静かな環境であれば理解することが出来る	・本人が理解できる見える情報(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物等)で伝える ・伝える量に配慮する ・理解できるまで待つ ・苦手な刺激への配慮
社会性の障がい 視線が合うことが少ない 人とかかわりが一方的・相手の気持ちに関係なく行動する・一人あそびが多い 周囲にどのように見られているかわからない、興味がない 相手の表情や気持ちを読むことが苦手 気持ちを共有することが難しい その場の状況、雰囲気、暗黙のルールを察することが苦手 周囲の人と上手に付き合うことができない 年齢相応の常識(社会のルール)が身につけていない 待つのが苦手／自由時間を上手に使うことができない その場にふさわしい(安全・迷惑に配慮した)行動がとれない 個別的な指示は分かるが、全体的な指示は分かりづらい				B. 発信が難しい <input type="checkbox"/> 見えないものの扱いが難しい <input type="checkbox"/> 音声言語ではうまく伝えられない <input type="checkbox"/> 誰に/どこに伝えたらいいかわからない <input type="checkbox"/> 伝えたいことを忘れやすい	→音声以外の方法であれば伝えることが出来る →音声以外の方法であれば伝えることが出来る →誰に/どこに伝えるか明確であれば伝えられる →思い出せるツールがあれば伝えられる。	・本人が使いやすいツール(文章、単語、絵、写真、具体物等)の提供 ・だれに、どうやって伝えるかわかるように具体的に支援 ・忘れたときに思い出す工夫
				C. やりとりが難しい <input type="checkbox"/> 気持ちなど見えないものの理解が難しい <input type="checkbox"/> 忘れやすい・処理速度を合わせられない <input type="checkbox"/> 情報が多いと処理が難しい	→相手の気持ちや背景が明確であれば理解できる →情報が整理されていればわかりやすい →情報が整理されていればわかりやすい	・会話も見えるツールとする ・相手の処理速度に合わせる ・人数などにも配慮する
				D. 相手の気持ちを想像できない <input type="checkbox"/> 見えないものの理解が難しい <input type="checkbox"/> 情報の多いものは苦手 <input type="checkbox"/> どこを見たらいいかわからない <input type="checkbox"/> 関係性がわからない	→相手の気持ちが明確であれば理解できる →情報が整理されていればわかりやすい →どこに注目するか明確にするとわかりやすい →場面の背景が明確であればわかりやすい	・関係性、感情なども見える形で伝える ・汲み取ってもらう、察してもらうではなく具体的に伝える(誰にどう伝えたらよいかなど)
				E. 状況の理解ができない <input type="checkbox"/> 見えないものの理解が難しい <input type="checkbox"/> 先の見通しをうまくもてない <input type="checkbox"/> どこを見たらいいかわからない <input type="checkbox"/> どこで活動したらいいかわからない <input type="checkbox"/> 視線や雰囲気から読みとるのは苦手 <input type="checkbox"/> 始めと終わりが理解しにくい <input type="checkbox"/> 手順が思いつかない	→場面の背景が明確であればわかりやすい →見通しが持てることは安心自立的に取り組むことが出来る →どこに注目するか明確にするとわかりやすい →活動する場所が明確であればわかりやすい →相手の気持ちや場面の背景が明確であればわかりやすい →始めと終わりがわかるようになっていけばしっかり守ることが出来る →見てわかるようになっていけば出来る	・5W1Hを見てわかるように伝える ・着目すべき場所を強調する ・一つの場所を多目的に使わない ・「どうなったら終わり」「次に何をやる」をわかるように工夫する ・すべきことを具体的に伝える ・苦痛となる刺激の遮断を手伝う ・見てわかるように手順を伝える
				F. 物の一部に対する強い興味 <input type="checkbox"/> 興味関心が強くて狭い <input type="checkbox"/> 集中しすぎると注意の移動ができない <input type="checkbox"/> 部分的に強く処理し全体の理解が苦手	→好きなものについてはエネルギーを使うことができる →終わりが明確になっていけば注意を向けることができる →関係性が明確になっていけばわかりやすい	・本人の興味関心に合わせた提示／活動に意味をもたせる(ごほうび活用) ・終了ときっかけの支援 ・まとまりをはっきりさせる
				G. 常同・反復的な行動 <input type="checkbox"/> 決まったパターンでないと不安 <input type="checkbox"/> 少しの違いで大きな不安 <input type="checkbox"/> その都度判断するのが苦手 <input type="checkbox"/> 特定の行動を何度も繰り返してしまう	→慣れ親しんだこと・もの・やり方であれば安心できる →慣れ親しんだこと・もの・やり方であれば安心できる →判断材料が明確になっていけばわかりやすい →決まったパターンを几帳面に行うことができる	・最初から正しい方法で学ぶ配慮 ・変わらないものは習慣化する ・変わるものは「やり方」「教え方」を統一する
				H. 変化への対応困難 <input type="checkbox"/> 少しの違いで大きな不安 <input type="checkbox"/> 手がかりが変わるとわからなくなる	→慣れ親しんだこと・もの・やり方であれば安心できる →手がかりが明確であればわかりやすい	・活動を始める前に成功につながる手がかりを提供する ・忘れても確認できるようにする ・変更の伝え方を統一する
				I. 感覚の敏感・鈍麻 <input type="checkbox"/> 感覚に過敏がある <input type="checkbox"/> 感覚に鈍感がある <input type="checkbox"/> 独特な感覚がある <input type="checkbox"/> 刺激が重なると処理が難しくなる	→不要な刺激が遮断できれば対応できる →些細な違いや変化にきがつくことができる →非常に我慢強い →刺激の調整がされれば対応できる	・苦手な刺激を少なくするための配慮 ・強い刺激など危険な刺激、好き過ぎる刺激への配慮 ・避難場所の確保 ・必要な刺激は保障する
感覚の障がい 視覚/眩しがる。目を閉じる。帽子やフードを目深にかぶる。キラキラに没頭する。など 聴覚/耳を塞ぐ。特定の音を嫌がる、怖がる。特定の音を大音量にしたがる。など 触覚/同じ素材の服しか着たがらない。粘土やのりのべたつきが苦手。触られることが苦手。など 味覚/著しい偏食。特定の刺激の強い味を好む。同じものばかり食べる。など 嗅覚/刺激臭を好む。特定の臭いを極端に嫌うなど ぐるぐる回っても目が回らない、姿勢が悪い、高い場所が好き、ロッキングが多い、など 爪切り、散髪、歯磨き、洗髪など日常的な場面で激しく抵抗する						